

第1回 新宮市文化複合施設管理運営検討委員会 会議概要

日時：平成28年1月14日（木） 午後3時00分～午後5時10分

場所：新宮市人権教育センター

【出席委員】

堀内委員、関委員、川口委員、船上委員、山本委員、高委員、榎本委員、丹羽委員、勢古委員、
雑賀委員、竹中委員、城庵委員

【欠席委員】

那須委員

【事務局】

田岡市長、楠本教育長、片山教育部長

文化振興課：畑尻課長、須崎課長補佐、前地係長、南係長、小林主事、篠原主事

図書館：道前係長

<委嘱状交付>

市長より各委員委嘱状を交付した。

<市長あいさつ>

委員の皆様には文化複合施設の管理運営計画づくりを進めていただきます。文化ホール、図書館、熊野学センターでのそれぞれの活動がつながり、3つの機能の相乗効果が発揮され、より市民に愛される施設となるよう、また持続可能な運営ができる計画づくりが重要です。ご協力よろしくお願い申し上げます。

●管理運営検討委員会開会

<教育長あいさつ>

新宮は文化芸術活動が熱心なところで、文化複合施設には市民が活発に活用できる施設運営が望まれています。委員の皆様には知恵をしばっていただき、いろいろなことを提言いただきたい。

<自己紹介>

委員、事務局より自己紹介

<議事1. 委員長・副委員長選出>

委員の互選により、委員長に堀内委員を選出。

堀内委員長が、副委員長に勢古委員、関委員を指名。

<議事2. 委員会の公開について>

委員会は公開と決定。

＜議事３．文化複合施設の取り組み経過について＞

【事務局より説明】

平成２０年３月に策定された新宮市総合計画で「一人ひとりがまちづくりの担い手」の基本理念のもと、目指すべき都市像として「人輝き文化奏でる都市」を掲げている。

文化資産の保全・活用、公共施設の再整備、中心市街地の再生など課題解決の特進プロジェクトとして、旧丹鶴小学校跡地と市民会館敷地に文化ホール・図書館・熊野学センターをまとめた文化複合施設を整備することとしている。

平成２０年から２３年にかけて文化複合施設の「文化ホール基本構想」「図書館整備基本構想」「熊野学センター基本構想」「文化複合施設基本計画」が策定され、平成２３年度には設計予算が可決されたが、平成２３年９月の紀伊半島大水害で被害を被り、復旧・復興を最優先するため事業凍結された。

平成２６年度予算で設計関連費用が認められるまでの間に、熊野学センターの国宝級の収蔵・展示は費用面から断念すると市長が判断。

平成２７年５月２８日に基本計画の見直しや基本設計を検討するため、基本設計等検討委員会を設置し、８回の議論を経て施設配置など基本設計に関する提言が本日提出された。

【委員長】

提言書の最後に『管理運営計画の策定等を進めるにあたっては、市民と行政等の協働の取り組みをさらに推進し、市民の意見を取り入れることを強く希望します。』とある。

この要望もあり、公募委員も含めた市民参加の管理運営検討委員会が本日発足した。

【委員】

どれだけ市民に浸透しているのか疑問。

【事務局】

報道や広報を通じてアナウンスしているが、まだ知らない方が多いと把握している。基本設計完成后、各地域で説明会開催予定。

【委員】

市民ワークショップでは、小中高生の意見が反映されることが大切。

【事務局】

基本設計検討ワークショップは日曜日に開催し、学校にも呼びかけたが参加は少なかった。本委員会で周知方法などを議論いただきたい。

【委員長】

委員の共通認識のため、開催したワークショップの資料の提供を。

【委員】

委員会の開催日時を周知しているか。

【事務局】

今回は委嘱式として報道発表。今後、記事提供や広告などで情報発信する。

【委員】

市民ワークショップで、学校を通じての働きかけは。

【事務局】

学校への案内はしている。休日で強要できないが、個人としての参加を呼びかけた。

【委員】

高校生は、新しい図書館ができることや、ワークショップが開かれたことを知らないのが現状。

【委員長】

どれだけ市民に周知したのかは行政や委員会だけの責任ではない。行政にも努力していただきながら、ワークショップなどに本委員会としても参加し、情報を開示・発信したい。参加しやすい環境をお互いどう作っていくかの議論をしないと進まない。

何が市民大多数のコンセンサスなのかは、我々が分別・忖度・斟酌しないといけないこと。できるだけ参加する機会を増やししながら、委員として外部や専門のチャンネルを吸収し、本委員会の議論が市民全体にとって良い文化複合施設の管理運営の提案になるよう努力したい。

<議事 4. 管理運営検討委員会について>

【事務局より説明】

管理運営計画は、文化ホール・図書館・熊野学センターの「基本構想」と「文化複合施設基本計画」の理念や方針を基に、事業・運営及び市民参画のあり方について指針を定めるもの。

本委員会では、市民ワークショップで挙がる意見を参考に、市民参画による管理運営体制、ランニングコストを踏まえた実現性のある事業活動計画や施設管理計画等について検討の上、管理運営計画案を作成し、市に提出。委員任期は計画策定までをひとつの目処とし、引き続き委員構成も含め事業計画等を検討していく予定。

市民ワークショップでは、施設運営のあり方や施設への期待など広く意見を伺い、本委員会における議論の参考にする。

管理運営計画策定等の予定スケジュールは、現時点での事務局案。この業務はコンサルタント業者に支援を委託する予定なので、業者決定後に変更する可能性がある。支援業者については2月4日のプロポーザルにおいて選定予定。

本委員会と市民ワークショップで管理運営計画について検討し、平成28年10月を目標に管理運営計画書を作成。その後、具体的な事業計画について検討。

管理運営計画の内容は、管理運営基本方針と事業活動計画、組織計画、施設管理計画などの基本方針と実施方針を予定。

本委員会の開催スケジュールは、本日が第1回で、第2回は2月、その後2ヶ月ごとに10月まで6回。市民ワークショップは3月に第1回、その後2ヶ月ごとに9月まで4回の予定。

また、文化複合施設整備のため、庁内で建設検討委員会を組織している。関係は、市民ワークショップで出た多様な意見や情報を参考に本委員会で検討を重ね、本委員会で課題や複数の選択肢がある場合は市民ワークショップでも検討しながら作成した管理運営計画書（案）を庁内建設検討委員会に上げ、最終的には市長が決定。

【委員】

- ・現状を踏まえたうえで検討したい。
- ・2ヶ月ごとの会議は間隔が長い。
- ・この会議の場の市側の責任者は。
- ・組織計画や施設愛称のことを先に検討したい。
- ・委員長には議事の進行をお願いし、委員の発言時間を充分とってほしい。
- ・市民ワークショップに委員会も参加し、その後委員で話し合うのはどうか。
- ・支援業者はこの委員会で決めるのか。
- ・管理運営検討委員会の目的は何か。
- ・委員一人の発言時間を最大3分と決めればどうか。
- ・文複（ブンブク）という略称は避けるべき。
- ・庁内建設検討委員会のメンバーは誰か。
- ・提言書の答えが出ないと運営に入れない。

- ・管理運営計画策定の詳しいスケジュールと、施設整備全体のスケジュールの提示を。

【事務局】

- ・図書館、市民会館の現状は当然情報提供する。
- ・管理運営計画は最終的に市が策定するもの。いただいた管理運営に関する提言を尊重し庁内建設検討委員会で機関決定の上、市長が決定。
- ・スケジュールは資料整理や支援業者と打合せしながらになるが、効率的に進めたい。
- ・略称の不使用、検討内容のスケジュールは委員会で決すること。
- ・庁内建設検討委員の資料は次回提出。
- ・市民ワークショップへはこの委員会でも率先して参加いただければありがたい。
- ・支援業者の選定は市職員6名による選定委員会が行う。
- ・提言書は本日提出いただいた。議会等に丁寧な説明をしていきたいと考えている。早急に進めたいが、ご理解いただきたい。

【委員】

市側の責任者は、ここでの発言に対する認識が異なった場合に誰が答えるのかということ。会議を録音してくれればいい。

【委員長】

この委員会の任務は、平成28年10月に管理運営計画を提言としてまとめることか。

【事務局】

管理運営計画の基本となる部分を10月までに整えたいという計画。自主・貸館事業計画の策定や開館記念事業などは次の段階として、引き続き委員構成も含め検討していく予定。

計画策定は、経験のある業者の支援を受けて進める。また、事業活動計画は3つの機能ごとに分科会を設けるなどの方法があるかもしれない。

【委員長】

この委員会の役割やスケジュール等について正副委員長会議を開き、案内する。

【委員】

短いスケジュールでは民意に反する部分があり、皆さん也多忙。また、図書館を毎日開けろという意見もあるが、ランニングコストがかかってできない。大衆迎合でないという基本的な理念を持ち、できることとできないことがあることを踏まえて、皆さんと話し合いたい。

【委員長】

事務局に、できるだけ行政委員を少なくして公募委員、女性委員を入れるよう求めた。

全国的な水準や、他施設の状況も学びながら、個人の身近な体験だけでなく、歴史や専門性などをクロスする議論の進め方をしたい。本日の議事の「管理運営委員会について」は持ち越す。

【事務局】

本日は文化複合施設の取り組み経過と管理運営委員会の概要についての説明。今後は、正副委員長との連携を密にして、情報共有しながら進める。

【委員長】

管理運営計画を作るのはこの委員会。議論しやすい資料作りを事務局に要請しながら会議を進める。

<閉会>